

⑩特

JAPAN
GROUP 143
CLASS. 8
RECORDED

②公告 昭和47年(1972)11月17日

発明の数 1

(全6頁)

75728T-AF. A35-F6. NIOF.10-06-68.
JA-039854. T47.
Nippon Oils and Fats Co Ltd. *JA-7245635-R.
A25..
D06m C08g (17-11-72)...
TREATMENT OF TEXTILES - WITH A POLYMER IMP
ARTING ANISTATIC.AND HYDROPHILIC PROPS..

F3-C5.

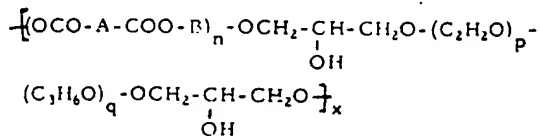
212

DETAILS

Soln. for treatment contg. 2-10% solids concn. is used to steep a textile; if desired using a cross linking agent reactive to sec. OH gp. Textile is squeezed and heat set at 140-180°C for 30 seconds to 5 minutes if desired prior drying the textile. Cross linking agent may be urea melamine or thiourea.

NEW

Fibre treated with liq. contg. cpd. (I)



wherein A is 3-10C aliphatic gp. alicyclic gp. or aromatic dibasic residue. B is 2-6C alkylene n is 1-5, p is 14-140, q is 0 or 40 and x is 1 or 2.

ADVANTAGE

Polymeric fibre thus treated has antistatic and hydrophilic properties (I) may be dissolved in H₂O with 5-40% pref. 10-20% surfactant.

75728T

これらの糸状物、繊維物（以下繊維という）に防電性および親水性を与える繊維の処理法に関する。

本発明において合成繊維とはポリエステル、ナイロン、アクリル繊維、ビニロン、プロピレン繊維などであり、またこれらと木綿、レーヨンなどのセルローズ系繊維との混紡繊維を含む。

合成繊維は疎水性のため油性汚れをよく付着し、セルローズ系繊維に比し汚れの除去が困難で洗濯中に脱離した汚れを再付着し着用、洗濯を繰り返すうちに繊維に汚れが蓄積し次第に黒ずむ欠点があり、また繊維の防電処理は前記の汚れについては顧慮されず、かえって油性汚れの付着や再汚染を助長する不利があつた。

本発明は、これらの欠点を改良したもので、脂肪族、脂環族または芳香族二塩基酸またはそれらの低級アルコールエステルを触媒の存在でアルキレングリコールと反応させてえられる低重合度のジヒドロキシ化合物にポリオキシアルキレングリコールのジグリシジルエーテルを反応させてえられる次式

処理法である。

本発明において二塩基酸またはそれらの低級アルコールエステルとしては炭素数3ないし10の脂肪族、脂環族または芳香族二塩基酸またはそれらの低級アルコールエステルで、芳香族二塩基酸の場合は他の官能基を有しうる。例えばマロン酸、コハク酸、アジピン酸、ヘキサンジカルボン酸、アゼライン液、セバシン酸、マレイン酸、テレフタル酸、ヘキサヒドロテレフタル酸、イソフタル酸、オルソフタル酸、5-スルホイソフタル酸、シクロヘキサンジカルボン酸などである。

低級アルコールには炭素数1ないし3の飽和一価アルコールがあり、高沸点アルコールは操作上不利である。アルキレングリコールとしては炭素数2ないし6の脂肪族二価アルコールがあり、例えばエチレングリコール、ジエチレングリコール、プロパンジオール、ブタンジオール、ヘキサジオールなどがある。

二塩基酸またはそれらの低級アルコールエステルとアルキレングリコールから低重合度のジヒドロキシ化合物をうるには常法によりエステル化あるいはエステル交換触媒を用い、好ましくは不活